

# 秋(11月に開花)

※開花時期は四季の森公園を基準としたものです

## イロハモミジ(カエデ科)

紅葉は11月下旬～12月中旬  
じゃぶじゃぶ池・しょうぶ園など



手のように裂けた葉を数えるとイロハニホヘトと7裂ですが5裂もあります。北海道・東北と日本海側はヤマモミジという別種が分布しています。清水の谷では12月末になってもまだ紅葉を保っています。

## オオモミジ(カエデ科)

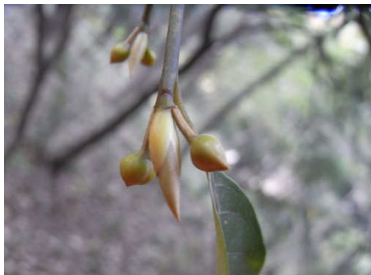
紅葉は11月下旬～12月上旬  
ピクニック広場へ向かう途中の上の池など



11月末頃に深い真紅に色づきます。イロハモミジより葉は大きく鋸歯が細かく整っています。黄や紅に色づくものありますが、紅は葉のクロロフィルなどが分解していくのと逆にアントシアンという赤色物質が形成され、黄色はカロチノイドという本来葉の中にある成分が残る、という違いがありますが、同じ種でも紅と黄色に別れるのは何故でしょう？

## クロモジ(クスノキ科)

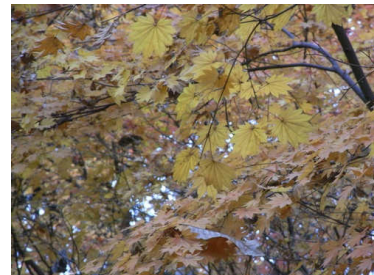
冬芽は11月～2月  
落葉樹の林



葉をもむと誰もがよい香りがするという芳香成分があり、ツマヨウジや香水に使われています。花と葉の冬芽は宇宙人のようにユーモラスな形をしています。

## コハウチワカエデ(カエデ科)

紅葉は11月下旬～12月上旬  
しょうぶ園



高い山や寒冷地に分布する種です。イロハモミジの葉より丸っこい葉で、天狗さんが持つ小さな団扇形です。こちらも紅葉・黄葉どちらもあります。

## 秋(11月に開花)

※開花時期は四季の森公園を基準としたものです

### ツワブキ(キク科)

11月上旬～11月下旬  
はず池西側・紅葉の森



ツヤのあるフキが名前の語源のようです。もともとは海岸の崖や岩の上に生えますが、日蔭でも生育します。

### ピラカンサ(実)(バラ科)

11月～1月中旬  
連絡地下通路



和名はトキワサンザシ。5月頃に白い花を咲かせ11月には赤い実となります。1月のお正月を過ぎた頃に実が熟し野鳥の冬の貴重な餌となり1月中旬には全ての実が食べつくされてしまいます。

### マムシグサ(サトイモ科)

実は11月  
里山林内



4～6月に仏炎苞の花を咲かせる。関東以西の山地や原野の湿った林床に生える。秋に写真のような鮮やかな赤い実をトウモロコシ状に付ける。

### マンリョウ(ヤブコウジ科)

実は11月上旬～1月  
林内(白い実は、はず池の西側)



センリョウは赤い実が上につき、マンリョウは下にぶら下がります。赤い実が普通ですが、写真のような白っぽい実がなるタイプも園内に生育しています。常緑の葉の鋸歯(葉の縁のギザギザ)が波状なのも特徴です。

### リンドウ(リンドウ科)

11月上旬～12月上旬  
園内では数少ない種です。



野草の開花では年内最後となる花です。釣鐘状の形の青紫色の花で、日光が射している時にだけ花を咲かし、雨天や夜は花をとじています。